

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2020 年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2021 年 5 月 10 日 提出

1. 研究課題名			
法政大学図書館所蔵の正岡子規文庫資料のデジタル化およびアーカイブ上での公開 (英文課題名: Digitization of "The Masaoka Shiki Collection" belong to Hosei University Library and publication on archive)			
2. 研究代表者			
氏名(ふりがな)		所属機関・職名	
中丸 宣明		法政大学文学部日本文学科 教授	
3. 研究分担者 (合計: 2 名)			
氏名(ふりがな)		所属機関・職名	
遠藤 星希(えんどう せいき)		法政大学文学部日本文学科 准教授	
小林 ふみ子(こばやし ふみこ)		法政大学文学部 日本文学科 教授	
4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)			
<p>これまで法政大学図書館の所蔵の貴重書「正岡子規文庫」のうち資料価値の高いものを撮影・デジタルデータ化し、「法政大学図書館デジタルアーカイブ」上で公開してきた。研究者から一般の利用者まで広く活用してもらえるよう、引き続き、古典籍ポータルデータベースと連携していく。</p> <p>また既存メタデータの書誌修正・整備を行うなど、デジタルアーカイブの内容品質向上に注力していく。</p> <p>なお「正岡子規文庫」は、俳人正岡子規の旧蔵書のうち和漢籍や自筆ノート等約 2100 点からなり、1949 年に法政大学へ寄贈されたものである。</p> <p>これまで図書館の事業として、すでにデジタルアーカイブサイト構築に取り組んでおり、現在貴重資料である「正岡子規文庫」「梅謙次郎文書」計 444 点約 27,800 カットが公開中である。</p>			
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)			
<ul style="list-style-type: none"> ・資料2点のデジタル化 2019 年度にデジタル化することを決定した資料2点について、撮影およびデジタル化を行い、デジタルアーカイブ上で公開した。 ・書誌修正・整備 タイトル、年号等の書誌事項の修正を行った。また、本学図書館の OPAC リプレイスに伴い、資料の請求記号が変更となったため、新しい請求記号へ付け替えを行った。 ・アクセス数について 2017 年に公開したデジタルアーカイブのアクセス数については以下の通りである。 			
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
1905	3196	2935	4281

6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)

- (1) 著書
- (2) 論文
- (3) 研究発表等
- (4) 主催したシンポジウム・研究会等
- (5) その他研究活動(報道発表や講演会等)
- (6) 受賞学術賞
- (7) 科学研究費助成事業
- (8) 競争的資金等(科研費を除く)
- (9) その他